

■ 都心・三宮再整備の目指す姿

神戸市では、市民と民間事業者、行政が協働で都心の再生を実現し、世界に貢献できる都市として発展していくことを目指して、平成27年9月に『神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]』及び三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。さらに、平成30年9月には『神戸三宮「えき～まち空間」基本計画』を策定し、快適で利便性が高く、美しい景観が備わり、さまざまな市民活動や交流が展開されるような街を目指して、官民が連携し三宮再整備の取り組みを進めています。

■ 都心三宮デザイン調整会議の趣旨

再整備を進めるにあたっては、行政が中心となって整備する「三宮クロススクエア」や税関線等の公共施設と周辺の建築物等の民間施設が、官民の連携によって一体的な空間を整備する必要があります。

今後計画される公共施設や民間施設については、相互に調整しながら一体的で魅力的な空間を目指すため、学識経験者等の専門的な見地より意見を求めるとともに、総合的なデザイン調整を行う場として、**都心三宮デザイン調整会議**（以下調整会議）を設置しています。なお、調整会議の内容は非公開とします。

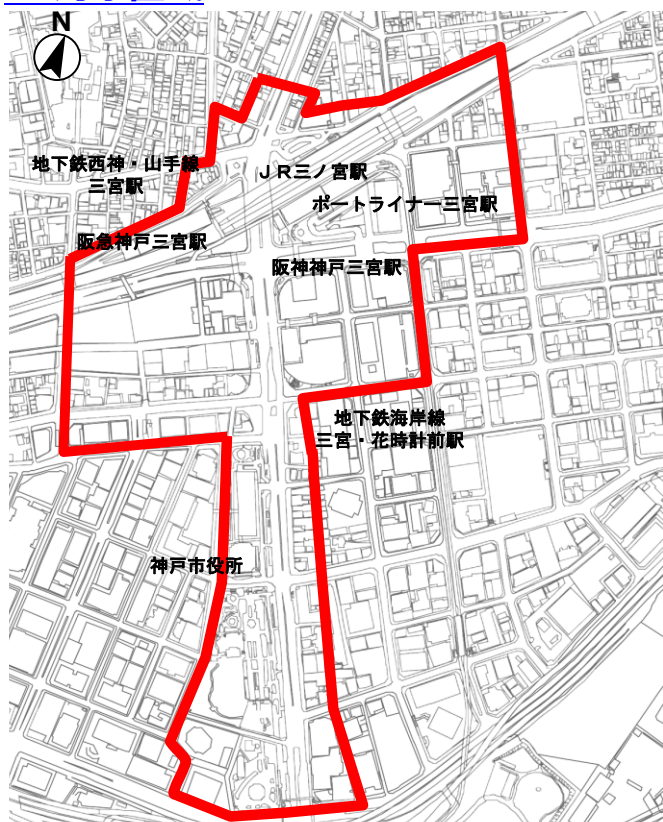
■ 神戸三宮「えき～まち空間」・税関線景観デザインコードについて

神戸市では、公共空間と沿道建築空間が一体となった魅力的な景観づくりを進めるため、公共空間の整備に向けた計画や、周辺の建築空間のあり方を視覚的に分かりやすくまとめた「神戸三宮「えき～まち空間」・税関線景観デザインコード」を策定しています。計画に際しては、本コードの考え方を反映していただきますようお願いいたします。景観デザインコードホームページ：<https://www.city.kobe.lg.jp/a55197/designcode2.html>

■ 対象案件

対象区域内の高さ20mを超える建築物
※原則、神戸市都市景観条例に基づく景観デザイン協議の対象となる事業

■ 対象区域

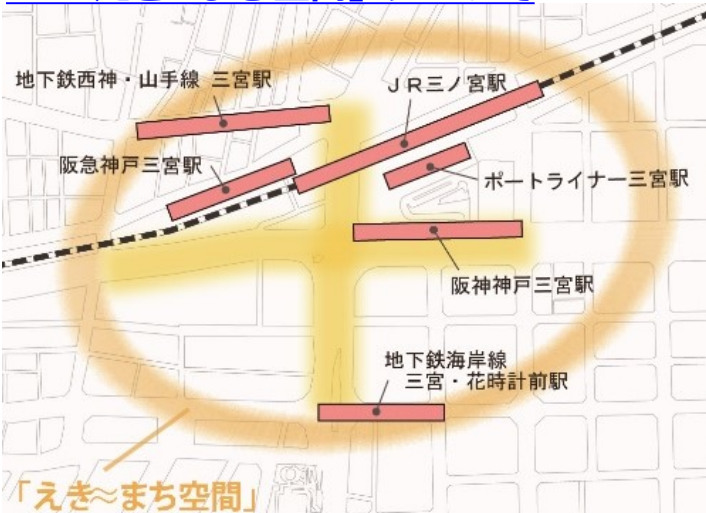


— 対象区域（建築物）

■ 開催時期

随時開催となりますので相談の際はお早めにお問い合わせいたします。

※ 「えき～まち空間」について



目標像

- ① 三宮の6つの駅があたかも一つの大きな「えき」となるような空間
- ② 「えき」と「まち」が行き来しやすく、より便利で回遊性を高める空間
- ③ 美しき港町・神戸の玄関口にふさわしい象徴となる空間

■ 会議での調整事項

① 対象事業に関する総合的な空間構成及びデザイン

個別の敷地や建築物だけではなく、周辺の街区や公共施設と一体的な都市空間を形成するために必要となる、機能的な連携や調和の取れた景観等

(周辺施設との空間の連続性や、一体感のあるまちなみを作るための配置やボリューム 等)

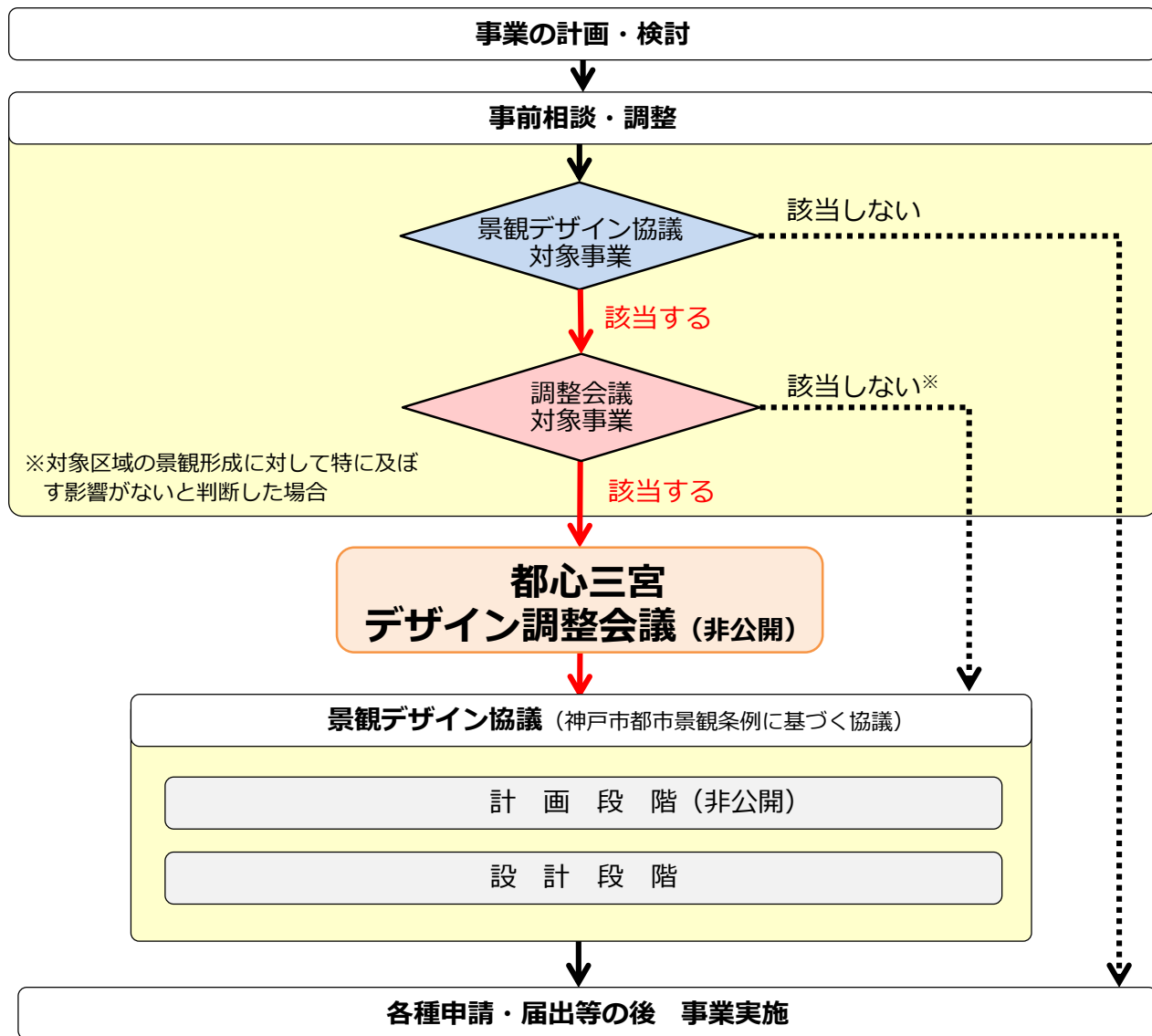
② 民間施設の公共的な空間（ピロティや公共的な通路等）に関する空間構成及びデザイン

それぞれの施設に求める公共空間として必要な機能や設え等

(乗換動線や公共的な通路 等)

③ その他、空間構成に関する必要な事項について

■ 計画から事業実施までの流れ



【お問合せ先】

神戸市 都市局 都心再整備本部 都心再整備部 都心三宮再整備課

〒651-0087

神戸市中央区御幸通6-1-12三宮ビル東館6階

TEL : 078-984-0243 FAX : 078-222-1605

都心三宮デザイン調整会議ホームページ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a55197/toshin/chouseikaigi.html>

